

# スポーツ医学概論 I

## Introduction to Sports Medicine I

単位数	1単位	担当教員	前田清司 MAEDA Seiji 他 関係教員
授業時間	春学期 AB 月曜 2 時限	研究室	D609 TEL 8859
標準履修年次	1 年次	オフィスアワー	

**学習目標** スポーツ医学に必要な身体の構造と機能および異常に関する基礎的事項について説明できる

**参考図書** スポーツ医学関連図書

**評価方法** 授業参加への積極性 (50%)，授業内容に関する小レポート (50%)

### 授業計画

回	担当教員	授業内容	キーワード
1	前田 清司	運動と動脈	動脈ステイフネス，加齢，血管内皮細胞
2	久賀 圭祐	運動と心疾患	コンディショニング，対処法，救急対処法
3	渡辺 重行	虚血性心疾患の病態と運動	負荷陽性所見，冠血流予備能
4	岡本 嘉一	スポーツ医学と医療画像	MRI，靭帯，腱，筋肉，コンディショニング
5	竹村 雅裕	スポーツ外傷・障害予防の科学的アプローチ	リスクファクター，予防手段
6	渡部 厚一	スポーツイベントにおける健康管理	発生疾患，環境，安全管理
7	小林 裕幸	骨格筋と運動	骨格筋の廃用性萎縮
8	金森 章浩	スポーツ整形外科	膝関節の障害 バイオメカニクス
9	竹越 一博	スポーツと遺伝子診断	カテコールアミン，肥満，多因子遺伝
10	正田 純一	肥満と肝疾患—予防と運動のための運動療法	健康支援，運動効果，分子メカニズム
11	佐藤 誠	スポーツと睡眠	睡眠，高知トレーニング

# スポーツ医学概論Ⅱ

## Introduction to Sports Medicine II

単位数	1単位	担当教員	和田 恒彦 WADA Tsunehiko 他 関係教員
授業時間	秋学期 AB 月曜 2 時限	研究室	D604 TEL 6807
標準履修年次	1 年次	オフィスアワー	

---

学習目標	スポーツ医学に必要な身体の機能およびスポーツ傷害等に対する対処法に関する基礎的な事項として、健康と体力、運動と栄養、運動療法、リハビリテーション、理学療法等のスポーツ科学の基礎について説明できる
参考図書	スポーツ医学 [基礎と臨床] 日本体力医学会学術委員会監修 (朝倉書店)
評価方法	授業参加への積極性 (50%)、授業内容に関する小レポート (50%)

---

### 授業計画

回	担当教員	授業内容	キーワード
1	和田 恒彦	スポーツ分野の物理療法	マッサージ、鍼、灸、電気、温熱、水治
2	徳山 薫平	運動と 24 時間のエネルギー代謝	BMR, DIT, EPOC
3	久野 譜也	生活習慣病及び介護予防のための運動と地域システム	高齢化、健康サービス産業、医療経済
4	宮内 卓	スポーツ指導者のための生活習慣病に対する薬物治療学	降圧薬、抗不整脈薬、抗糖尿病薬など
5	福田 崇	トップアスリートへのアスレティックリハビリテーションの導入	アスレティックトレーナー、アスレティックリハビリテーション、トレーニング
6	白木 仁	アスレティックトレーニングとは	アスレティックリハビリテーション、傷害予防のトレーニング
7	向井 直樹	スポーツと骨	傷害の予防、協調性、安定性、柔軟性、安全対策
8	宮川 俊平	運動器のメディカルチェック	メディカルチェック、身体特性の評価
9	柴田 愛	行動疫学と座位行動	身体活動、座位行動、健康増進、中高齢者
10	高橋 義雄	スポーツ医学の社会史	歴史、社会学、スポーツ医学

---

# スポーツ医学セミナー I

## Seminar for Sports Medicine I

単位数	1単位	担当教員	前田清司 MAEDA Seiji 他 関係教員
授業時間	集中	研究室	D609 TEL 8859
標準履修年次	2~3年次	オフィスアワー	

---

学習目標	スポーツ医学概論 I で学んだ事項について、各指導教員の下で研究デザインを構築していく基本的な手法を学ぶ
参考図書	スポーツ医学関連図書
評価方法	終了後に課題レポート(100%)

---

### 授業計画

回	担当教員	授業内容	キーワード
1	前田 清司	運動と動脈	動脈ステイフネス, 加齢, 血管内皮細胞
2	久賀 圭祐	心疾患と運動コンディショニング	コンディショニング, 対処法, 救急対処法
3	渡辺 重行	動脈硬化の発生機序と運動	負荷陽性所見, 冠血流予備能
4	金森 章浩	スポーツ外傷の診断	膝関節の傷害, バイオメカニクス
5	正田 純一	肥満関連の肝疾患に及ぼす運動効果の分子メカニズム	有酸素運動, 骨格筋, インスリン, 糖代謝改善, アミノ酸
6	竹村 雅裕	スポーツ外傷・障害に対するクリニカル・リーズニング	リスクファクター, 予防手段
7	渡部 厚一	スポーツイベントにおける健康管理	発生疾患, 環境, 安全管理
8	小林 裕幸	運動とインスリン抵抗性	骨格筋の廃用性萎縮
9	竹越 一博	スポーツと遺伝子診断	カテコールアミン, 肥満, 多因子遺
10	岡本 嘉一	スポーツ医学と医療画像	MRI, 靱帯, 腱, 筋肉, コンディショニング
11	佐藤 誠	スポーツと睡眠	睡眠, 高地トレーニング

---

# スポーツ医学セミナーⅡ

## Seminar for Sports Medicine II

単位数	1単位	担当教員	和田 恒彦 WADA Tsunehiko 他 関係教員
授業時間	集中	研究室	D604 TEL 6807
標準履修年次	2～3年次	オフィスアワー	

---

学習目標	スポーツ医学概論Ⅱで学んだ事項について、各指導教員の下で研究デザインを構築していく基本的な手法を学ぶ
参考図書	スポーツ医学 [基礎と臨床] 日本体力医学会学術委員会監修 (朝倉書店)
評価方法	終了後に課題レポート (100%)

---

### 授業計画

回	担当教員	授業内容	キーワード
1	和田 恒彦	スポーツ分野の物理療法	マッサージ, 鍼, 灸, 電気, 温熱, 水治
2	白木 仁	スポーツ傷害予防のコンディショニング	アスレティックリハビリテーション, 傷害予防のトレーニング
3	宮川 俊平	運動器のコンディショニング	メディカルチェック, 身体特性の評価
4	徳山 薫平	身体活動中のエネルギー代謝	BMR, DIT, EPOC
5	久野 譜也	生活習慣病及び介護予防のための運動と地域システム	高齢化, 健康サービス産業, 医療経済
6	宮内 卓	スポーツ指導者のための生活習慣病ニアチする薬物治療学	降圧薬, 抗不整脈薬, 抗糖尿病薬
7	向井 直樹	女性スポーツ医学	傷害の予防, 協調性, 安定性, 柔軟性, 安全対策
8	福田 崇	研究課題への取り組み ー脳振盪予防のためにー	アスレティックトレーナー, アスレティックリハビリテーション, トレーニング
9	高橋 義雄	スポーツ医学の社会史	歴史, 社会学, スポーツ医学
10	柴田 愛	座位行動研究の最前線	身体活動, 座位行動, 健康増進, 中高齢者

---

# スポーツ医学セミナーⅢ

## Seminar for Sports MedicineⅢ

単位数 1単位 担当教員 渡部厚一 WATANABE Koichi  
前田清司 MAEDA Seiji  
徳山薫平 TOKUYAMA Kumpei

授業時間 集中 研究室 D607 TEL 5902  
標準履修年次 1～3年次 オフィスアワー

---

学習目標 スポーツ医学における最新の知見を学び、博士論文研究の参考に資する  
参考図書  
評価方法 授業参加への積極性(50%)、授業内容に関する小レポート(50%)

---

### 授業計画

回	担当教員	授業内容	キーワード
1		主にスポーツ医学専攻を修了したOB、OGが 非常勤講師として講義する	
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

---